

高度な専門性・資格・技術が身につく

# 日本の専門学校

職業に直結する  
専門学校の教育

専門学校は、実践的な職業教育を行う日本の高等教育機関です。

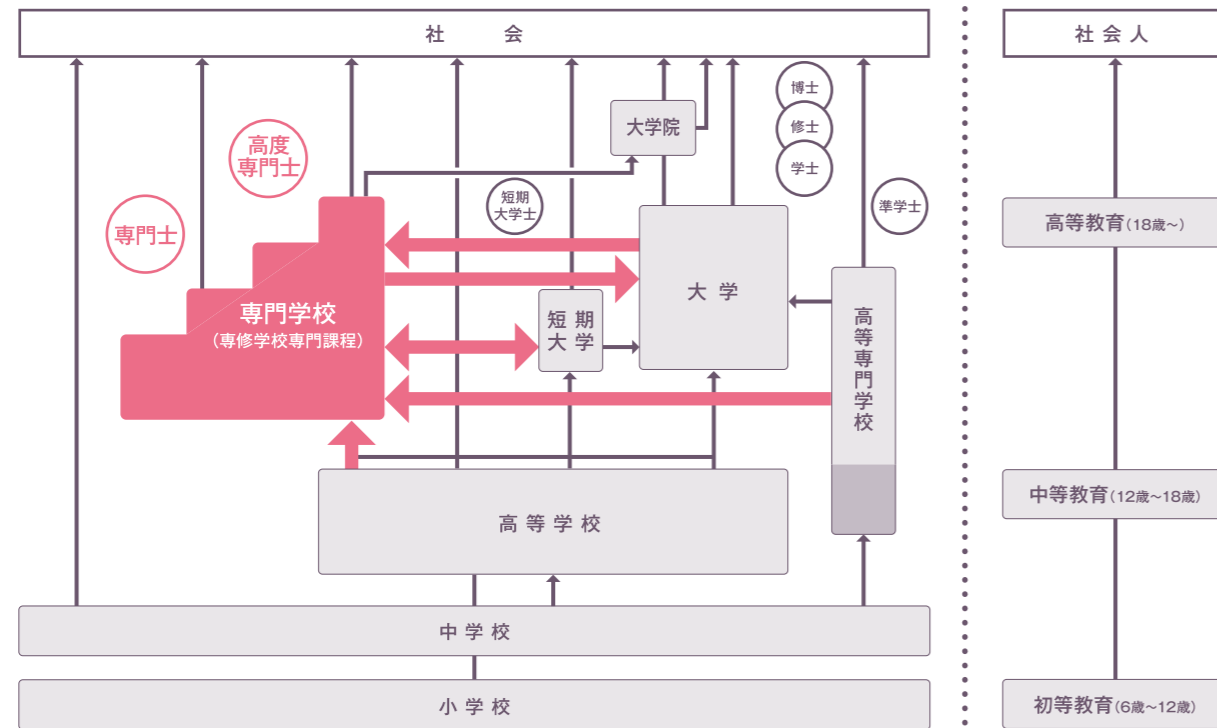
職業や実生活に必要な知識、技術、技能の習得、教養の向上を目的とした教育機関で、

医療、工業、文化・教養、商業実務、衛生、教育・社会福祉、服飾・家政、農業と様々な分野の学校があります。

日本の専門学校 学校数: 2,822 入学者: 268,654人  
学生数: 588,223人 (2017年5月現在)

## 日本の専門学校の位置づけ

専門学校は大学・短期大学と同じ「高等教育機関」として位置づけられ、日本の高等教育段階における職業教育を担っている機関です。現在では、修業年数2年以上(総授業時数1,700時間以上)等の課程修了者に「専門士」、修業年限4年以上(総授業時数3,400時間以上)等の課程修了者に「高度専門士」の称号が付与され、「専門士」は大学編入、「高度専門士」は大学院への入学が可能になっています。



### ◀ 日本の学位・称号 ▶

教育機関区分	日本国での学位	教育機関区分	日本国での称号
Graduate School	Doctorate degree	Professional Training College	Advanced Diploma
	Master's degree		
University/College	Bachelor's degree	Professional Training College	Diploma
Junior College	Associate degree		

※2年制以上の専門課程を卒業すると「Diploma」の称号が、4年制の専門課程を卒業すると「Advanced Diploma」の称号が付与されます。

# 専門学校の特長

国家資格の取得をはじめ、  
多くのメリットがある専門学校

日本の専門学校の最大の特長は、就職に直結しているということ。

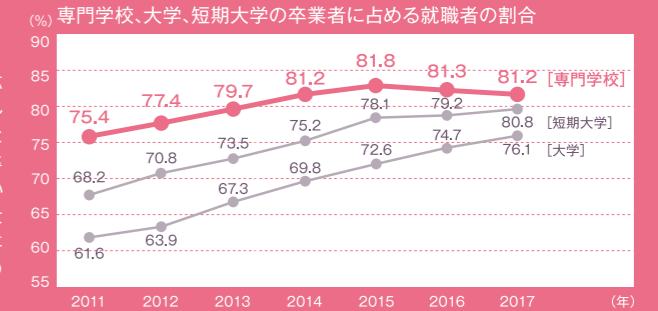
あらゆる職業の分野において、高い専門技術を身につけることを目指す教育機関であり、

今や大学に次ぐ高等教育機関として重要な役割を担っています。

## 就職に強く、大学編入も可能



専門学校は、常に社会のニーズに応え、産業界と連携を図ってきました。職業教育機関として、即戦力となる人材を輩出してきた実績は、卒業生の高い就職率に結びついています。またその教育の質の高さは大学からも高く評価されており、2年間の履修を終えた学生は大学への編入も認められています。



## 世界で通用する専門的技術や知識が身につく

現在、工業・インフラ関係、食品分野、観光、またファッション・メディア系に至るまで、日本の高い技術は全世界で注目を浴びています。これらの多岐にわたる専門知識を高いレベルで習得することが可能な教育機関、それが日本の専門学校です。



## 教育環境や施設・設備の充実

例えばアニメやデザインなどのメディア系の学校であれば学生一人に1台のPCが与えられたり、調理系の専門学校であれば最新の調理器具を使用して世界のトレンドを身につけることができたりと、高い教育の質を確保するための充実した施設・設備の中で学ぶことができます。



## Technical Skill 高度な専門性が身につく

専門学校の講師は、その分野のスペシャリストばかり。だから、得られる知識も業界ですぐ活かせる一流の知識と言えます。また、インターンシップも積極的に行っている学校が多く、学校にいながら日本企業のノウハウを身につけることも可能です。工業や自動車、家電、ファッション業界などで世界中からの注目を常に集める日本企業のノウハウに触れることは、あなたにとってきっと大きな刺激になるはずです。



## Hospitality 日本ならではの、おもてなしの心

近年、東京オリンピック誘致の際のプレゼンテーションでも話題になりましたが、日本は高いマナーや礼儀を重んじる「おもてなしの国」。観光や飲食業界、医療や教育の現場など、あらゆる場面で質の高い「おもてなし」のスキルが求められるため、「日本にいて、毎日その技術に触れることができる」のは、大変大きなメリットであると言えます。